



## 「健康経営優良法人2023」に認定されました

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史）では、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」において、3月8日（水）に「健康経営優良法人2023」（大規模企業部門）に認定されました。

当社では、社員の健康維持増進に関する活動目標と具体的な活動計画を定め、疾病予防・早期発見と健康増進に努め、社員が能力を十分に発揮できる環境づくりに取り組んでいます。

近年では生活習慣病予防の一環として、健康保険組合と連携し、35才以上の社員全員に胃がんリスク検査を実施し高リスク者への受診勧奨を行っているほか、特定保健指導の対象外である39歳以下の社員のうち一定のBMI値に達した者について、産業医や保健師、管理栄養士等による生活習慣の改善指導を行っています。また、2017年度から2021年度までウォーキングをテーマとした健康増進策「京王ヘルスチャレンジ」において運動の習慣付けを図り、健診結果等で効果を検証しました。2022年度はより多くの社員に健康増進の意識を持ってもらうことを目的に、法人向け健康経営支援サービス「サントリープラス」を導入し、運動への関心が薄い層への働きかけを強化しました。

メンタル面の施策としては、鉄道事故に遭遇した現業社員に対する心理的支援を強化しています。

「健康経営優良法人」認定にあたっては、社員の健康課題を把握し対応していること、各種施策の結果の把握・効果検証の取り組みなどが評価されたものと考えています。

今後も、時流をとらえた課題やニーズを踏まえたうえで、社員の健康維持増進に資する施策に積極的に取り組み、事業を通じて地域や社会へ貢献してまいります。

詳細は下記の通りです。



◀ 「健康経営優良法人」認定証 ▶



◀ 産業医との面談の様子 ▶

## 1. 健康経営優良法人認定制度について

健康経営実践法人の拡大を図ることを目的に、経済産業省と日本健康会議が共同で、地域の健康課題に即した取組や、日本健康会議が勧める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を表彰する制度です。

本年は「大規模法人部門」に2,676法人、「中小規模法人部門」に14,012法人が認定されました。



## 2. 当社の健康経営に関する主な取り組み

通常の定期健康診断結果に基づく産業保健スタッフによる指導とあわせ、以下に取り組んでいます。

実施項目	対象	内容
がん検診勧奨	35歳以上の社員	健康保険組合と連携し、対象全社員に胃がんリスク健診を順次実施、受診勧奨を行っています。また、大腸がん検診キットの対象全社員への配布を行っています。
「若メタボ」対策	39歳以下でBMI 28以上の社員	産業医、保健師、管理栄養士等による生活習慣改善指導を実施しています。
法人向け健康経営支援サービス「サントリープラス」導入	全社員	ハードルが低く、生活の中で取り組みやすい健康行動を支援する「サントリープラス」を導入し、実行した健康タスクが可視化されることで、より多くの社員に健康増進のモチベーションを維持する効果が期待できます。また、健康行動を実行し続けることで、専用の飲料自動販売機で健康飲料と引き換え可能なクーポンが付与されます。
衛生講演会	全社員 (グループ会社含む)	産業医や外部有識者による健康をテーマとした講演会を開催しています。 コロナ禍であった2022年度はオンライン形式で実施しました。
メンタルヘルス対策	全社員	鉄道事故に遭遇した現業社員に対する心理的支援の強化に取り組んでいます。また、ストレスチェック結果に基づく職場環境の改善、高ストレス者への面談等を実施しています。
長時間労働の是正	本社員	ノー残業デーの設定や深夜残業の原則禁止などの施策を実施しているほか、サテライトオフィスやフレックスタイム制度の活用により柔軟で効率的な働き方を推奨しています。
休暇取得の促進	本社員	年次有給休暇の取得率の全社目標を掲げ、計画的な休暇取得を推奨しています。

以上